

一般研究発表プログラム

本プログラムは予めWeb上に提出された演題情報を基に作成していますので、講演要旨の内容と一致しない場合があることにご注意下さい。また、発表申込〆切（6/10）後に修正された情報については、反映されていない場合があることにもご注意ください。

口頭発表の講演番号の1桁目は講演日、次の桁が会場名、最後の4桁は開始時刻を表しています。演者の氏名の前に○を付しています。

<第1日目 9月6日（水） 午前>

A会場（疫学・リスク評価／臭気／排出規制・抑制技術・コベネフィット）

座長：田村 憲治（国立環境研究所）

1A0945	機械学習を用いた3D Land use regressionモデルによるNO2濃度推定とその評価	○荒木 真（大阪大学）・島 正之（兵庫医科大学）・山本浩平（京都大学）
1A1000	喘息による急病診療所への受診とPM2.5の成分との関連性	○山崎 新（国立環境研究所）・島 正之・余田 佳子（兵庫医科大学）
1A1015	東京都都市部の高齢者における大気汚染物質と騒音の曝露による健康影響 ー大気汚染物質と呼吸器疾患との関連性ー	○堺 温哉・森川 多津子・富田 幸佳・小池 博・伊藤 晃佳・伊藤 剛（日本自動車研究所）・岸川 洋紀（武庫川女子大学）・東 賢一（近畿大学）・中井 里史（横浜国立大学）・内山 巖雄（京都大学）
1A1030	Penalized DLNMを用いた日本9都市におけるPM2.5濃度-日死亡リスク関数の推定	○Seposo Xerxes（京都大学）・道川 武紘・新田 裕史・山崎 新（国立環境研究所）・上田 佳代（京都大学）

座長：増田 淳二（大阪市立環境科学研究センター）

1A1045	食品リサイクル施設からの悪臭苦情事例	○大野 隆史・中島 寛則・池盛 文数・久恒 邦裕（名古屋市環境科学調査センター）
1A1100	1-ブタノール基準臭を用いた臭気強度評価方法の硫化水素に対する適用可能性	○樋口 隆哉・関根 雅彦・今井 剛・山本 浩一・神野 有生（山口大学）
1A1115	ガス状VOCを処理対象とした生物脱臭装置における水分挙動の観察	○樋口 能士・森 美由貴・Mansoori Ahmad Masoud（立命館大学）
1A1130	HCFC-22のアルカリ加水分解に及ぼすマイクロバブルの効果	○忽那 周三（産業技術総合研究所）・中塚 涼（産業技術総合研究所・（株）生体分子計測研究所）・高橋 正好（産業技術総合研究所）

B会場（酸性雨／沈着／環境社会科学・環境学習）

座長：野口 泉（北海道立総合研究機構）

1B0930	千葉県における降水成分濃度の経年変化（2）	○横山 新紀（千葉県環境研究センター）
1B0945	千葉県清澄山の降水中硫酸イオンと渓流水濃度の関係（3）	○横山 新紀・井上 智博（千葉県環境研究センター）
1B1000	横浜における微小雨滴の採取とその特性	○井川 学・櫻井 清・木皿 匠（神奈川大学）
1B1015	奈良東大寺スギ林土壌のSIMPLBモデルによる酸性化の将来予測	○伊藤 和男・福田 俊介（大阪府立大学高専）
1B1030	中国のEANET6地点の2000-2015の降水化学	○原 宏（東京農工大学）・北山 響（国立環境研究所）・大原 信（電力中央研究所）

座長：伊藤 和男（大阪府立大学高専）

1B1045	フィルターパック法におけるインパクト効果 - その4-	○野口 泉・山口 高志・鈴木 啓明（北海道立総合研究機構）・木戸 瑞佳（富山県環境科学センター）・松本 利恵（埼玉県環境科学国際センター）
1B1100	札幌におけるHONOの昼夜間濃度の挙動	○野口 泉・山口 高志・鈴木 啓明（北海道立総合研究機構）・中川 書子・角皆 潤（名古屋大学）
1B1115	林内雨・樹幹流法による丘陵地における窒素酸化物の乾性沈着推定法の検証	○伴 聡美（日本環境衛生センター・東京農工大学）・組澤 和樹（東京農工大学・埼玉県）・高橋 章（東京農工大学・電力中央研究所）・松田 和秀（東京農工大学）
1B1130	都市郊外の森林におけるエアロゾル粒子の鉛直分布測定	○反町 篤行（福島県立医科大学）・松田 和秀（東京農工大学）
1B1145	科学および特許情報データベースからみた環境問題動向調査	○都築 英明（天理医療大学）

C会場（排出インベントリ／地球環境／VOC／有害化学物質）

座長：森野 悠（国立環境研究所）

1C0945	アジアにおけるSLCP関連物質排出量長期トレンドの評価	○黒川 純一（アジア大気汚染研究センター）・大原 利真（国立環境研究所）
1C1000	航空機からの大気汚染物質排出量推計結果に関する考察－国内主要空港の空港間比較と経年変化－	○篠原 直明・橋本 弘樹・高橋 達（空港環境整備協会）・前田 崇宏（成田国際空港振興協会）
1C1015	PM2.5排出インベントリの改善と大気シミュレーションによる評価	○森川 多津子（日本自動車研究所, 石油エネルギー技術センター）
1C1030	ガス状のギ酸と酢酸を放出する植物のスクリーニング測定	○望月 智貴・谷 晃（静岡県立大学）
1C1045	カラマツ林床から放出されるテルペン類の組成と放出速度の測定	○望月 智貴・谷 晃・氏原 萌子（静岡県立大学）・高橋 善幸（国立環境研究所）

座長：望月 智貴（静岡県立大学）

1C1100	内モンゴル草原からの生物起源揮発性有機化合物発生量の測定	○包海・乌云・塔娜・阿古拉（内モンゴル師範大学）・近藤明（大阪大学）
1C1115	内モンゴル都市大気環境粒子状物質(TSP、PM10)での有機塩素農薬品(OCPs)の分布特性	○塔娜・乌云・包海・阿古拉（内モンゴル師範大学）・近藤明（大阪大学）
1C1130	大気中のニトロ多環芳香族炭化水素の分析法開発	○福永 顕規（川崎市環境総合研究所）
1C1145	能登半島における大気中有害化学物質の連続観測	○唐寧・楊露・長門 豪・鶴丸 央・猪股 弥生・松木 篤・鳥羽 陽・鈴木 亮・早川 和一（金沢大学）

E会場（粒子状物質）

座長：池盛 文数（名古屋市環境科学調査センター）

1E0930	多数展開可能な小型ローコストPM2.5計測器の開発および大型PM2.5機器(BAM)との長期の同時大気計測による性能実証	○松見 豊・中山 智喜（名古屋大学）・三浦 和彦・永野 勝裕（東京理科大）・岩本 洋子（広島大学）・齊藤 伸治（東京都環境科学研究所）・山神 真紀子（名古屋市環境科学調査センター）・長田 和雄（名古屋大学）
1E0945	胸につけて簡単に測定できる高精度なPM2.5個人曝露装置の開発	○松見 豊・中山 智喜・山崎 高幸・岡本 渉・笹子 宏史（名古屋大学）
1E1000	ドローン飛行体を用いた大気エアロゾルのPM2.5濃度および粒子径分布の3次元測定	○松見 豊・岡本 渉・山崎 高幸・中山 智喜・笹子 宏史（名古屋大学）
1E1015	サイクロン法により採取されたPM2.5粉体試料の成分組成	○長谷川 就一（埼玉県環境科学国際センター）・奥田 知明（慶応義塾大学）
1E1030	化学輸送モデルとライダー観測データを用いた大阪上空のエアロゾルイオン成分鉛直分布の把握について	○山本 勝彦・奥村 智憲・西村 理恵（大阪府立環境農林水産総合研究所）・浦西 克維（大阪大学）・小松 宏昭（神奈川環境研究センター）・清水 厚・菅田 誠治（国立環境研究所）

座長：山本 勝彦（(地独)大阪府立環境農林水産総合研究所）

1E1045	サーマルオプティカル法による船用ディーゼル機関排ガス中の炭素成分分析に関する検討	○中村 真由子・大橋 厚人・益田 晶子・高橋 千織（海上・港湾・航空技術研究所 海上技術安全研究所）
1E1100	捕集ろ紙の違いによるPM2.5中有機成分の測定値の比較	○池盛 文数・山神 真紀子（名古屋市環境科学調査センター）・菅田 誠治（国立環境研究所）
1E1115	PM2.5自動測定機テープろ紙を用いた無機元素の多地点・高時間分解能観測による冬季の越境輸送過程の詳細解析	○辻 昭博（京都府保健環境研究所）・三田村 徳子（滋賀県琵琶湖環境科学センター）・野田 悠介（佐賀県環境センター）・土肥 正敬（長崎県環境保健研究センター）・河野 公亮（大分県衛生環境研究センター）・家合 浩明（新潟県保健環境科学研究所）・船木 大輔（島根県保健環境科学研究所）・日置 正（京都府保健環境研究所）・菅田 誠治（国立環境研究所）
1E1130	PM2.5自動測定機テープろ紙を用いた夏季の都市-郊外間の人為起源エアロゾルの輸送過程の連続観測	○辻 昭博（京都府保健環境研究所）・三田村 徳子（滋賀県琵琶湖環境科学センター）・山本 勝彦（大阪府立環境農林水産総合研究所）・日置 正（京都府保健環境研究所）・菅田 誠治（国立環境研究所）
1E1145	夏季に滋賀県へPM2.5移流をもたらす気象要因	○三田村 徳子・高取 惇哉・江下 舞・服部 達明（滋賀県琵琶湖環境科学センター）

F会場 (粒子状物質)

座長：藤谷 雄二 (国立環境研究所)

1F0930	九州西岸における浮遊粒子状物質の変動：2015-2017春の観測	○張代洲 (熊本県立大学)・小島知子 (熊本大学)・長沼歩 (熊本県立大学)・曹仁秋 (東京ダイレック(株))・堀川結香・西麻紀子・村上奈津雄・富崎凜 (熊本県立大学)・早坂忠裕 (東北大学)・柴田隆 (名古屋大学)
1F0945	瀬戸内海沿岸域における大気エアロゾル中の窒素化合物の動態	○中村篤博 (香川高等専門学校)・成田祥 (東京大学)・金澤啓三 (香川高等専門学校)・植松光夫 (東京大学)
1F1000	格子点化PM2.5濃度とひまわり8号エアロゾルプロダクトの比較	○早崎将光・鈴木健太郎 (東京大学)
1F1015	格子点化PM2.5濃度作成のための品質管理	○早崎将光 (東京大学)・菅田誠治 (国立環境研究所)
1F1030	植物排出HCおよび生成物の反応の二次有機エアロゾル(SOA)生成能大気質モデルの改良によるSOA計算値過小の改善	○竹川秀人・高須施聞 ((株)豊田中央研究所)・茶谷聡 ((株)豊田中央研究所, 国立環境研究所)

座長：竹川 秀人 ((株)豊田中央研究所)

1F1045	光化学スモッグチャンバーを用いたガソリン自動車排出ガスからの二次粒子の測定	○萩野浩之・内田里沙・須藤菜那 (日本自動車研究所)
1F1100	一般廃棄物焼却炉排気中凝縮性ダストの等温希釈法による揮発性分布の測定その1 凝縮性ダストの測定	○高橋克行・吉村有史・加藤昌彦 (日本環境衛生センター)・藤谷雄二 (国立環境研究所)・星純也 (東京都環境科学研究所)
1F1115	一般廃棄物焼却炉排気中凝縮性ダストの等温希釈法による揮発性分布の測定その2 有機物の網羅的測定	○星純也・棚島智恵子・加藤みか (東京都環境科学研究所)・高橋克行 (日本環境衛生センター)・藤谷雄二 (国立環境研究所)
1F1130	一般廃棄物焼却炉排気中凝縮性ダストの等温希釈法による揮発性分布の測定その3 揮発性分布の導出	○藤谷雄二・佐藤圭・田邊潔 (国立環境研究所)・高橋克行 (日本環境衛生センター)・星純也 (東京都環境科学研究所)
1F1145	マイクロ繊維シート捕集材の画像解析を用いた採石場における大気中PM量の推定	○齊藤貢・大塚尚寛 (岩手大学)

<第1日目 9月6日(水) 午後>

A会場 (学生セッション1)

座長：猪股 弥生 (アジア大気汚染研究センター)

1A1300	首都圏小規模森林における酸性物質と微量金属元素の森林フィルター効果(2)	○永岡 玲奈・大河内 博・島田 幸治郎 (早稲田大学大学院創造理工学研究科)・宮崎 あかね (日本女子大学大学院理学研究科)
1A1310	首都圏近郊山間部における渓流水を通じた微量金属元素の流出挙動と大気沈着の影響評価(3)	○西村 寿々美・大河内 博・島田 幸治郎・中野 孝教 (早稲田大学大学院創造理工学研究科)・井川 学 (神奈川大学工学部)
1A1320	首都圏近郊山間部森林域における渓流水の化学特性と大気沈着の影響評価 (3)	○真庭 護・大河内 博・島田 幸治郎・中野 孝教 (早稲田大学大学院創造理工学研究科)・井川 学 (神奈川大学工学部)
1A1330	デニューダ・フィルターパック法を用いた濃度勾配観測による森林におけるPM2.5沈着メカニズムの成文間差の検証	○徐 懋・松田 和秀・鈴木 景太 (東京農工大学)
1A1340	Inferential法によるエアロゾル成分の粒径別乾性沈着量の評価	○水越 麻夏・松田 和秀 (東京農工大学)
1A1350	デニューダ・緩和渦集積法を用いた乾性沈着直接測定による森林における硝酸ガスの沈着速度評価	○坂本 泰一・中原 聡仁・松田 和秀 (東京農工大学)

B会場 (学生セッション2)

座長：長田 和雄 (名古屋大学)

1B1300	冬季における滋賀県北部と南部の微小粒子状物質PM2.5の解析	○宮元 健太・市川 陽一 (龍谷大学理工学研究科)
1B1310	バイオモニタリングによる黄砂の解析	○鄧 雋傑・市川 陽一 (龍谷大学理工学研究科)
1B1320	2017年黄砂飛来時における粒子状物質中の花粉とイオン成分の挙動	王 青躍・○王 偉セイ・五島 孝浩 (埼玉大学大学院理工学研究科)
1B1330	能登半島と福江島における大気中多環芳香族炭化水素の比較研究	○楊 露・唐 寧・松木 篤・早川 和一 (金沢大学)・高見 昭憲・佐藤 圭・吉野 彩子 (国立環境研究所)・畠山 史郎 (東京農工大学)・兼保 直樹 (産業技術総合研究所)
1B1340	降雨時におけるガス状および粒子状多環芳香族炭化水素類 (PAHs) の濃度	○石田 香奈子・竹中 規訓 (大阪府立大学大学院)

C会場 (学生セッション3)

座長：山崎 新 (国立環境研究所)

1C1300	サイクロン方式を用いてアジア地域から採取したPM2.5がヒト気道上皮細胞に及ぼす影響	○チョードリー プラティティ ホーム・本田 晶子・伊藤翔・岡野 人士・大西 俊範・東原 誠・上田 佳代・高野 裕久 (京都大学)・田中 利夫・平井 誠太郎 (ダイキン工業株式会社)
1C1310	福岡におけるPM2.5の化学成分と小学生の症状との関連	○杉山 太一・上田 佳代・本田 晶子・高野 裕久 (京都大学)・中島 亜矢子 (福岡地区水道企業団海水淡水化センター)・木下 誠・小川 貴史・藤本 正典 (福岡市)・道川 武紘・新田 裕史 (国立環境研究所)
1C1320	SPM汚染に関する疫学調査のためのLand Use Regression (LUR) 曝露評価モデル構築	○福尾 彩・花岡 航己・新井 智尋・中井 里史 (横浜国立大学)
1C1330	都市部における浮遊粒子状物質の健康影響調査	○孫 旭・鈴木 路子 (東京福祉大学大学院)・神宮 直人 (グリーンブルー株式会社)
1C1340	ヒノキ花粉およびアレルゲンの大気中飛散挙動と気象条件との関係	王 青躍・○五島 孝浩・王 イセイ (埼玉大学大学院)

F会場 (学生セッション4)

座長：黒川 純一 (アジア大気汚染研究センター)

1F1300	化学反応モデルを組み込んだCFDモデルを用いた大阪における沿道大気質の解析	○張 琦・松尾 智仁・嶋寺 光・近藤 明 (大阪大学)
1F1310	2013年度関西・関東都市域におけるPM2.5とその成分に対する大気質モデルの再現性評価	○松井 駿佑・嶋寺 光 (大阪大学)・山地 一代 (神戸大学)・茶谷 聡 (国立環境研究所)・松尾 智仁・近藤 明 (大阪大学)
1F1320	PM2.5無機イオン成分を対象とした大気質モデルの予測精度向上に関する研究	○鈴木 健・櫻井 達也 (明星大学大学院理工学研究科)
1F1330	ゾンデ観測及び数値モデルによるOx高濃度化の立体解析	○吉岡 美里・櫻井 達也 (明星大学理工学研究科)・大森 大悟・中村 大介・五味 大雅 (環境計測株式会社)
1F1340	ベトナム都市の大気汚染研究	○李 保宴・酒巻 史郎 (名城大学理工学研究科)

G会場 (学生セッション5)

座長：伏見 暁洋 (国立環境研究所)

1G1300	南極内陸部で観測された積雪表面からの窒素酸化物の放出	○野呂 和嗣・竹中 規訓 (大阪府立大学)・荒井 美穂 (山形大学)・須藤 健司・川村 賢二・本山 秀明 (国立極地研究所)・櫻井 俊光 (寒地土木研究所)
1G1310	パッシブサンプラーによる土壌中アンモニアガスの測定	○深江 健吾・竹中 規訓 (大阪府立大学大学院)
1G1320	フィルターパック法による大気中の二酸化窒素および亜硝酸ガスの測定	○鳥山 勝哉・竹中 規訓 (大阪府立大学)
1G1330	物質輸送シミュレーションとMAX-DOAS法による東シナ海のNO2カラム濃度の長期変動解析	○平山 友基・山地 一代 (神戸大学大学院)・金谷 有剛 (海洋研究開発機構)
1G1340	レーザー分光法を用いた新規測定手法による実大気中未知HO2反応性の探索	○藤井 富秀 (京都大学)・坂本 陽介・梶井 克純 (京都大学・国立環境研究所)

H会場 (学生セッション6)

座長：長谷川 就一 (埼玉県環境科学国際センター)

1H1300	中国発展途上都市部の大気浮遊粒子状物質(SPM)中のイオン成分の挙動	王 青躍・○阮 潔 (埼玉大学)・呂 森林 (上海大学)
1H1310	慣性フィルターサンプラーを用いた粒径別発生源指標の調査	○黒土 優太・関口 和彦・三小田 憲史 (埼玉大学)・熊谷 貴美代 (群馬県衛生環境研究所)
1H1320	大流量PM2.5採取におけるアーティファクトの影響の検討	○完戸 大輝・照井 凱大・奥田 知明 (慶應大学大学理工学部)
1H1330	富士山体を利用した大気境界層および自由対流圏の雲水化学特性の解明 (3)	○中村 恵・大河内 博・島田 幸治郎 (早稲田大学)・勝見 尚也・皆巳 幸也 (石川県立大学)・小林 拓 (山梨大学)・三浦 和彦 (東京理科大学)・加藤 俊吾 (首都大学東京)・和田 龍一 (帝京科学大学)
1H1340	富士山体を利用した大気境界層上層および自由対流圏におけるガス状水銀の観測	○山地 達也・大河内 博・勝見 尚也・島田 幸治郎 (早稲田大学)・小林 拓 (山梨大学)・皆巳 幸也 (石川県立大学)・三浦 和彦 (東京理科大学)・加藤 俊吾 (首都大学東京)・米持 真一・梅沢 夏実・野尻 喜好 (埼玉県環境国際センター)

ポスター発表 <9月6日(水) 午後 14:00-16:00> P棟2Fラウンジ、2F食堂
14:00-15:00 奇数番号コアタイム、15:00-16:00 偶数番号コアタイム

ポスター発表の講演番号は“P-”に続いて3桁の通し番号で表しています。
 演者の氏名の前に○を付しています。

P-001	露の生成・消滅による水溶性成分の動態と光化学オキシダントへ与える影響の可能性	古市 恵美・○竹中 規訓 (大阪府立大学)
P-002	東京都心部における大気中亜硝酸濃度測定	○豊田 瑛大 (東京農工大学)・國分 優孝・齊藤 伸治 ・星 純也 (東京都環境科学研究所)・中嶋 吉弘・松田 和秀 (東京農工大学)
P-003	環境レセプターに応じた光化学オゾン削減対策の検討	○中川 雄貴 (東京大学)・井上 和也 (国立研究開発法人 産業技術総合研究所)・戸野倉 賢一 (東京大学)
P-004	回転翼航空機を利用した富山県上空の過酸化水素およびホルムアルデヒド濃度の測定	○渡辺 幸一・宋 笑晶・金 美佳・市川 夢子・角山 沙織 ・矢地 千奈津 (富山県立大学)
P-005	キャニスター採取-GCMS法を用いた含酸素化合物の分析条件検討	○福崎 有希子・小宇佐 友香 (横浜市環境創造局環境科学研究所)
P-006	本牧測定局における2016年夏季のVOC調査	○松島 由佳・福崎 有希子・小宇佐 友香 (横浜市環境創造局環境科学研究所)
P-007	ベトナム・ハノイ市における揮発性有機化合物(VOC)の組成・濃度に関する研究	○松岡 航平 (京都大学)・Do Ngoc Thi・Ly Thuy Bich (ハノイ工科大学)・坂本 陽介・梶井 克純 (京都大学, 国立環境研究所)
P-008	コナラから放出されるVOCの温度および光強度依存性に関する研究	○田中 志整・岸本 伊織 (京都大学)・坂本 陽介・梶井 克純 (京都大学, 国立環境研究所)
P-009	固定発生源周辺における大気中揮発性有機化合物の自動連続測定-市原市岩崎西における測定-(第3報)	○渡邊 剛久・内藤 季和 (千葉県環境研究センター)
P-010	プラスチック溶融時排ガスと大気中オゾンの反応生成物の測定	○水越 厚史・東 賢一 (近畿大学)・野口 美由貴・山崎 章弘 (成蹊大学)・徳村 雅弘 (静岡県立大学)・奥村 二郎 (近畿大学)
P-011	沖縄辺戸岬の降水・エアロゾルの特性	○岩崎 綾・城間 朝彰・友寄 喜貴 (沖縄県衛生環境研究所)
P-012	全国酸性雨調査 (97) -湿性沈着-	○岩崎 綾 (沖縄県衛生環境研究所)・堀江 洋佑 (兵庫県環境研究センター)・西山 亨 (三重県保健環境研究所)・久恒 邦裕 (名古屋市環境科学調査センター)・友寄 喜貴 (沖縄県衛生環境研究所)・河野 明大 (徳島県立保健製薬環境センター)・須藤 欣一・船越 吾朗 (環境省)
P-013	全国酸性雨調査 (98) -フィルターパック法による粒子・ガス成分濃度およびインパクト効果その5-	○木戸 瑞佳 (富山県環境科学センター)・濱村 研吾 (福岡県保健環境研究所)・野口 泉 (北海道立総合研究機構)・松本 利恵 (埼玉県環境科学国際センター)・藤田 大介 (福井県衛生環境研究センター)・家合 浩明・遠藤 朋美 (新潟県保健環境科学研究所)・岩崎 綾 (沖縄県衛生環境研究所)・上野 智子 (和歌山県環境衛生研究センター)・藍川 昌秀 (北九州市立大学)・向井 人史 (国立環境研究所)

P-014	全国酸性雨調査(99)－乾性沈着(パッシブ法によるアンモニア濃度)－	○横山 新紀(千葉県環境研究センター)・山口 高志(北海道立総合研究機構 環境科学研究センター)・多田 敬子(岩手県環境保健研究センター)・箕浦 宏明(アジア大気汚染研究センター)・村野 健太郎(京都大学)・大原 真由美(大気環境学会中国四国支部)
P-015	全国酸性雨調査(100)－乾性沈着(沈着量の推計)－	○松本 利恵(埼玉県環境科学国際センター)・山添 良太(鳥取県衛生環境研究所)・濱野 晃(熊本市環境総合センター)・甲斐 勇・吉田 英美香(元熊本市環境総合センター)・松田 和秀(東京農工大学)
P-016	フィルターパック法におけるインパクト効果－その6－	○松本 利恵(埼玉県環境科学国際センター)・野口 泉(北海道立総合研究機構)・木戸 瑞佳(富山県環境科学センター)・家合 浩明・遠藤 朋美(新潟県保健環境科学研究所)・上野 智子(和歌山県環境衛生研究センター)・堀江 洋佑(兵庫県環境研究センター)・岩崎 綾(沖縄県衛生環境研究所)
P-017	北海道・東北地域における河川上流部の窒素など長期水質変化の検討	○山口 高志(北海道立総合研究機構 環境科学研究センター)・佐藤 卓・多田 敬子(岩手県環境保健研究センター)・佐藤 健(秋田県健康環境センター)
P-018	PM2.5用インパクトを付けた4段フィルターパック法による乾性沈着調査について	遠藤 朋美・保坂 雅之・○家合 浩明(新潟県保健環境科学研究所)
P-019	日本海側の森林集水域における金属元素等の沈着特性	○諸橋 将雪(アジア大気汚染研究センター,新潟薬科大学)・齋藤 辰善(新潟県保健環境科学研究所,新潟大学)・高橋 雅昭(アジア大気汚染研究センター)・中田 誠(新潟大学)・川田 邦明(新潟薬科大学)・佐瀬 裕之(アジア大気汚染研究センター)
P-020	大阪府星田妙見宮社寺林の土壌酸性化の可能性	○伊藤 和男・武田 一宏(大阪府立大学工業高等専門学校)
P-021	六甲山における林内雨-林外雨法による霧水沈着量推定及び霧水・雨水中の成分濃度比較	○堀江 洋佑(兵庫県環境研究センター)・山口 高志(北海道立総合研究機構 環境科学研究センター)・堅田 元喜(茨城大学 地球変動適応科学研究機関)・福島 慶太郎(首都大学東京)・平木 隆年(兵庫県環境研究センター)
P-022	立山・室堂平における積雪中のイオン成分およびアルデヒド類の濃度	○渡辺 幸一・日比野 佳佑・原田 英幸・江尻 遼介・金 聖鈞(富山県立大学)
P-023	福島県の放射性物質に汚染された森林における林縁効果	○今村 直広・小林 政広・金子 真司(森林総合研究所)
P-024	大阪における大気中水銀濃度の実態把握	○和田 匡司・奥村 智憲・福山 由依子・森 育子・田和 佑脩・西村 理恵・中村 智(大阪府立環境農林水産総合研究所)
P-025	鉍物エアロゾル上におけるphenanthreneとO3との不均一反応による9,10-phenanthrenequinoneの二次生成	○亀田 貴之・Dule Dule・Gao Yatong・東野 達(京都大学)
P-026	排水処理施設に生息する細菌由来の亜硝酸ガス発生量測定	○手嶋 萌映・宮下 智之・峰島 知芳(国際基督教大学)・竹中 規訓(大阪府立大学)・寺田 昭彦・細見 正明(東京農工大学)・大山 正幸(大阪健康安全基盤研究所)・佐藤 啓市(アジア大気汚染研究センター)
P-027	能登半島の大气中多環芳香族炭化水素類と反応性ガスとの相関解析	○唐 寧・長門 豪・楊 露・鶴丸 央・猪股 弥生・松木 篤・鳥羽 陽・鈴木 亮・早川 和一(金沢大学)

P-028	シミュレーションモデルを用いた化学物質の大気中濃度の推定	○芥川 智子・田原 りり子・永洞 真一郎（(地独)北海道立総合研究機構 環境科学研究センター）・近藤 啓子・松崎 寿・竹田 宜人（(独)製品評価技術基盤機構 化学物質管理センター）
P-029	能登半島珠洲および京都における大気中多環芳香族誘導体の通年観測	○神谷 優太・亀田 貴之（京都大学）・松木 篤（金沢大学環日本海域環境研究センター）・大浦 健（名城大学）・張 子丹・東野 達（京都大学）
P-030	通気チャンバーを用いた杉木板のNO2除去能測定	○工藤 匠一郎・竹中 規訓・鳥山 勝哉（大阪府立大学）
P-031	子どものいる家屋内の空気汚染物質濃度に影響を及ぼす要因：エコチル調査兵庫ユニットセンターにおける環境測定結果	○島 正之・澤木 潤子・徳田 成美・余田 佳子・大谷 成人（兵庫医科大学）
P-032	室内環境中のイソシアネート化合物の分析	○戸次 加奈江・内山 茂久・樺田 尚樹（国立保健医療科学院）
P-033	2016年4月におけるPM2.5高濃度事例の解析	○木戸 瑞佳（富山県環境科学センター）・山神 真紀子（名古屋市環境科学調査センター）・成田 弥生（山形県環境科学研究センター）・梅田 真希（群馬県衛生環境研究所）・西山 亨（三重県保健環境研究所）・西村 理恵（大阪府立環境農林水産総合研究所）・中坪 良平（兵庫県環境研究センター）・山本 真緒（奈良県景観・環境総合センター）・船木 大輔（島根県保健環境科学研究センター）・山村 由貴（福岡県保健環境研究所）・土肥 正敬（長崎県環境保健研究センター）・菅田 誠治（国立研究開発法人国立環境研究所）
P-034	2016年5月におけるPM2.5高濃度事例の解析①	○西村 理恵・福山 由依子（(地独)大阪府立環境農林水産総合研究所）・鳴海 史（岩手県環境保健研究センター）・成田 弥生（山形県環境科学研究センター）・木戸 瑞佳（富山県環境科学センター）・牧野 雅英（石川県保健環境センター）・吉田 勤（札幌市衛生研究所）・石川 千晶（仙台市衛生研究所）・長谷川 就一（埼玉県環境科学国際センター）・堀本 泰秀（千葉県環境研究センター）・寺本 佳宏（三重県保健環境研究所）・中坪 良平（兵庫県環境研究センター）・山神 真紀子（名古屋市環境科学調査センター）・船木 大輔（島根県保健環境科学研究センター）・土肥 正敬（長崎県環境保健研究センター）・松本 弘子（福岡市保健環境研究所）・菅田 誠治（国立研究開発法人国立環境研究所）
P-035	2016年5月におけるPM2.5高濃度事例の解析②	○山村 由貴（福岡県保健環境研究所）・土肥 正敬（長崎県環境保健研究センター）・山本 真緒（奈良県景観・環境総合センター）・中坪 良平（兵庫県環境研究センター）・西村 理恵（(地独)大阪府立環境農林水産総合研究所）・山神 真紀子（名古屋市環境科学調査センター）・木戸 瑞佳（富山県環境科学センター）・長谷川 就一（埼玉県環境科学国際センター）・多田 敬子（岩手県環境保健研究センター）・菅田 誠治（国立研究開発法人国立環境研究所）

P-036	2016年5月におけるPM2.5高濃度事例の解析③	○力 寿雄（福岡県保健環境研究所）・土肥 正敬（長崎県環境保健研究センター）・船木 大輔（島根県保健環境科学研究所）・中坪 良平（兵庫県環境研究センター）・西村 理恵（(地独)大阪府立環境農林水産総合研究所）・山本 真緒（奈良県景観・環境総合センター）・山神 真紀子（名古屋市環境科学調査センター）・武田 麻由子（神奈川県環境科学センター）・長谷川 就一（埼玉県環境科学国際センター）・梅田 真希（群馬県衛生環境研究所）・小野寺 甲仁（岩手県環境保健研究センター）・菅田 誠治（国立研究開発法人国立環境研究所）
P-037	2016年7月におけるPM2.5高濃度事例の解析	○成田 弥生（山形県環境科学センター）・飯島 史周（栃木県保健環境センター）・梅田 真希（群馬県衛生環境研究所）・長谷川 就一（埼玉県環境科学国際センター）・山神 真紀子（名古屋市環境科学調査センター）・寺本 佳宏（三重県保健環境研究所）・山本 真緒（奈良県景観・環境総合センター）・西村 理恵（(地独)大阪府立環境農林水産総合研究所）・中坪 良平（兵庫県環境研究センター）・船木 大輔（島根県保健環境科学研究所）・力 寿雄（福岡県保健環境研究所）・菅田 誠治（国立研究開発法人国立環境研究所）
P-038	2016年11月におけるPM2.5高濃度事例の解析	○中坪 良平（兵庫県環境研究センター）・木戸 瑞佳（富山県環境科学センター）・吉田 勤（札幌市衛生研究所）・北見 康子（茨城県霞ヶ浦環境科学センター）・梅田 真希（群馬県衛生環境研究所）・長谷川 就一（埼玉県環境科学国際センター）・堀本 泰秀（千葉県環境研究センター）・山本 真緒（奈良県景観・環境総合センター）・山神 真紀子（名古屋市環境科学調査センター）・船木 大輔（島根県保健環境科学研究所）・山村 由貴（福岡県保健環境研究所）・菅田 誠治（国立研究開発法人国立環境研究所）
P-039	2016年12月及び2月におけるPM2.5高濃度事例の解析①	○中川 修平（福岡県保健環境研究所）・船木 大輔（島根県保健環境科学研究所）・中坪 良平（兵庫県環境研究センター）・西村 理恵（(地独)大阪府立環境農林水産総合研究所）・山本 真緒（奈良県景観・環境総合センター）・西山 亨（三重県保健環境研究所）・山神 真紀子（名古屋市環境科学調査センター）・菅田 誠治（国立環境研究所）
P-040	2016年12月におけるPM2.5高濃度事例の解析②	○石井 克巳（千葉県環境研究センター）・木戸 瑞佳（富山県環境科学センター）・北見 康子（茨城県霞ヶ浦環境科学センター）・梅田 真希（群馬県衛生環境研究所）・長谷川 就一（埼玉県環境科学国際センター）・西山 亨（三重県保健環境研究所）・西村 理恵（(地独)大阪府立環境農林水産総合研究所）・中坪 良平（兵庫県環境研究センター）・山本 真緒（奈良県景観・環境総合センター）・池盛 文教（名古屋市環境科学調査センター）・船木 大輔（島根県保健環境科学研究所）・山村 由貴（福岡県保健環境研究所）・浅川 大地（大阪市立環境科学研究センター）・菅田 誠治（国立研究開発法人国立環境研究所）

P-041	2017年2月におけるPM2.5高濃度事例の解析②	○西山 亨・寺本 佳宏（三重県保健環境研究所）・北見 康子（茨城県霞ヶ浦環境科学センター）・梅田 真希（群馬県衛生環境研究所）・木戸 瑞佳（富山県環境科学センター）・山神 真紀子（名古屋市環境科学調査センター）・山本 真緒（奈良県景観・環境総合センター）・西村 理恵（(地独)大阪府立環境農林水産総合研究所）・中坪 良平（兵庫県環境研究センター）・船木 大輔（島根県保健環境科学研究所）・力 寿雄（福岡県保健環境研究所）・菅田 誠治（国立研究開発法人国立環境研究所）
P-042	2017年3月におけるPM2.5高濃度事例の解析	○熊谷 貴美代・梅田 真希（群馬県衛生環境研究所）・西村 理恵（(地独)大阪府立環境農林水産総合研究所）・石川 千晶（仙台市衛生研究所）・木戸 瑞佳（富山県環境科学センター）・石井 克巳（千葉県環境研究センター）・長谷川 就一（埼玉県環境科学国際センター）・北見 康子（茨城県霞ヶ浦環境科学センター）・池盛 文数（名古屋市環境科学調査センター）・山本 真緒（奈良県景観・環境総合センター）・中坪 良平（兵庫県環境研究センター）・船木 大輔（島根県保健環境科学研究所）・力 寿雄（福岡県保健環境研究所）・浅川 大地（大阪市立環境科学研究センター）・菅田 誠治（国立研究開発法人国立環境研究所）
P-043	全国PM2.5成分測定結果から見た高濃度日における地域別/季節別化学組成の特徴（3）	○熊谷 貴美代（群馬県衛生環境研究所）・山神 真紀子（名古屋市環境科学調査センター）・長谷川 就一（埼玉県環境科学国際センター）・菅田 誠治（国立研究開発法人国立環境研究所）
P-044	全国PM2.5成分測定結果から見た高濃度日における化石燃料燃焼指標元素の季節別/地域別特徴	○緒方 美治（熊本市環境総合センター）・熊谷 貴美代（群馬県衛生環境研究所）・長谷川 就一（埼玉県環境科学国際センター）・菅田 誠治（国立研究開発法人国立環境研究所）
P-045	一次粒子および二次粒子の酸化能に関する文献調査	○萩野 浩之（一般財団法人日本自動車研究所）・梶野 瑞王（気象研究所）・大畑 昌輝（産業総合技術研究所）・藤谷 雄二（国立環境研究所）
P-046	粒子酸化能に着目した新健康影響指標の提案に向けて	○梶野 瑞王（気象研究所・理化学研究所・筑波大学）・五十嵐 康人・財前 祐二・足立 光司・関山 剛・Ching Joseph（気象研究所）・大畑 昌輝・チョン 千香子（産業技術総合研究所 計量標準総合センター）・藤谷 雄二・古山 昭子（国立環境研究所）・萩野 浩之・須藤 菜那（日本自動車研究所）・亀田 貴之（京都大学）・猪股 弥生（金沢大学）・大西 一成（山梨大学）
P-047	昼夜別PM2.5と無機ガスの同時測定（1）－前橋における測定結果－	○田子 博・梅田 真希・熊谷 貴美代（群馬県衛生環境研究所）・小山 慎一・小西 千絵（ムラタ計測器サービス株式会社）
P-048	昼夜別PM2.5と無機ガスの同時測定（2）－横浜における測定結果－	○小西 千絵・横山 容子・小山 慎一（ムラタ計測器サービス株式会社）・田子 博・梅田 真希・熊谷 貴美代（群馬県衛生環境研究所）
P-049	瀬戸内海周辺の3地点におけるPM2.5の発生源解析(1)-レセプターモデル-	○中坪 良平・堀江 洋佑・平木 隆年（兵庫県環境研究センター）・高木 洋・伊藤 武志・若松 純子（弓削商船高等専門学校）・余田 佳子・島 正之（兵庫医科大学）
P-050	瀬戸内海周辺の3地点におけるPM2.5の発生源解析(2)-化学輸送モデル-	○堀江 洋佑・中坪 良平・平木 隆年（兵庫県環境研究センター）・嶋寺 光・近藤 明（大阪大学）・高木 洋・伊藤 武志・若松 純子（弓削商船高等専門学校）・余田 佳子・島 正之（兵庫医科大学）

P-051	埼玉県北部における夏季と秋季のPM2.5に含まれる植物起源炭素成分の比較	○佐坂 公規 (埼玉県環境科学国際センター・埼玉大学)・米持 真一・長谷川 就一・梅沢 夏実・松本 利恵・野尻 喜好 (埼玉県環境科学国際センター)・王 青躍 (埼玉大学)・坂本 和彦 (アジア大気汚染研究センター)
P-052	西日本における大気中のタンパク質、エンドトキシン、イオン類の濃度の季節的変動と長距離輸送の影響	○渡辺 徹志・Khan Mohammad Shahriar・古川 奈美・久保 裕希・中大路 友亮・河瀬 裕美・長谷井 友尋・松本 崇宏 (京都薬科大学)・出口 雄也・長岡 寛明 (長崎国際大学)・山岸 伸行 (摂南大学)
P-053	過渡モードにおける軽油および10%バイオディーゼル燃料混合(B10)軽油使用時のディーゼルエンジン排出成分組成の比較	○柴田 慶子・塩谷 健二・柳沢 伸浩 ((株)いすゞ中央研究所)・坂本 和彦 (アジア大気汚染研究センター)
P-054	三重県におけるPM2.5の状況について	○寺本 佳宏・西山 亨・阪本 晶子・佐藤 邦彦・岩崎 誠二・川合 行洋 (三重県保健環境研究所)
P-055	PM2.5中レボグルコサンの異なる測定法を比較する試み	○阪井 裕貴 (奈良県景観・環境総合センター)
P-056	家屋内外PM2.5中の無機元素成分測定におけるICP-MS法およびEDXRF法の比較	○牧木 涼輔 (横浜国立大学環境情報学府)・奥田 知明 (慶應義塾大学)・萩野 浩之 (日本自動車研究所)・福岡 有希子 (横浜市環境創造局環境科学研究所)・馬場 優介・中井 里史 (横浜国立大学環境情報学府)
P-057	熊本県の道路沿道における交通由来PM2.5の寄与推定と削減可能性の検討	○豊永 悟史 (熊本県環境生活部環境局環境保全課)・村岡 俊彦 (熊本県環境生活部環境局循環社会推進課)・山崎 文雅 (熊本県環境生活部環境局環境保全課)
P-058	溶媒抽出GC/MS法による冬季PM2.5中n-アルカンの測定	○須藤 藤那・萩野 浩之 (一般財団法人日本自動車研究所)
P-059	練習船深江丸による瀬戸内海におけるPM2.5の洋上観測	○川本 雄大・柿花 諒太郎・山地 一代・林 美鶴 (神戸大学)・中坪 良平 (兵庫県環境研究センター)・板野 泰之 (大阪市立環境科学研究所)・山本 勝彦・和田 匡司 (大阪府立環境農林水産総合研究所)
P-060	夏季のPM2.5高濃度化の周辺状況 (関東地方2010~2014年を中心に)	○吉門 洋 (日本気象協会)
P-061	都市大気環境中のサブミクロン粒子 (PM1) の化学組成による発生源推定	○小西 智也 (早稲田大学)・米持 真一 (埼玉県環境科学国際センター)・村田 克 (早稲田大学)
P-062	鳥取県米子市に飛来した粗大粒子及びPM2.5の成分比較と発生源解析による検討	○大西 一成 (山梨大学)・奥田 知明 (慶應義塾大学)・福池 晃 (ムラタ計測器サービス株式会社)・金谷 久美子 (京都大学)・野島 正寛 (東京大学医科学研究所附属病院 TR・治験センター)・足立 雄一・浜崎 景 (富山大学)・増本 年男 (鳥取大学)・中山 健夫 (京都大学)・黒沢 洋一 (鳥取大学)・山縣 然太郎 (山梨大学)
P-063	夏季、秋季におけるPM2.5中の有機トレーサーとニトロ芳香族炭化水素類の昼夜別観測	○池盛 文数 (名古屋市環境科学調査センター)・中山 智喜 (名古屋大学)・長谷川 瞳 (名古屋市環境科学調査センター)
P-064	廃棄物最終処分場スラム街におけるPM濃度：インドネシア共和国パンタル・グバンを事例に	○佐々木 俊介 (帝京大学)・山内 武紀 (昭和大学)・原 邦夫 (帝京大学)・田村 憲治 (国立環境研究所)・山野 優子・長嶋 大地 (昭和大学)・ブリアニー サンティアー (アトマ・ジャヤ大学)・矢野 榮二 (帝京大学)
P-065	後方流跡線解析によるPM2.5データの判別とその特徴	○久恒 邦裕・森 健次・池盛 文数・山神 真紀子 (名古屋市環境科学調査センター)・長田 和雄 (名古屋大学)

P-066	光散乱式パーティクルカウンタとβ線SPM測定器による連続測定結果の比較	○岡崎 友紀代・若松 伸司（愛媛大学）
P-067	新潟市におけるPM2.5有機マーカ成分の特徴について	○高橋 司（アジア大気汚染研究センター）・武 直子（新潟県保健環境科学研究所）・諸橋 将雪・高橋 雅昭・佐瀬 裕之（アジア大気汚染研究センター）・大泉 毅（新潟県保健環境科学研究所）・箕浦 宏明（アジア大気汚染研究センター）
P-068	東京都における大気中超微小粒子についてー冬季のデータを中心にー	○釜谷 光保・星 純也・下間 志正（東京都環境科学研究所）
P-069	2016年～2017年の堺市における大気中PM2.5中PAH濃度とその排出源	○ファン キムオアン（大阪府立大学）
P-070	中国瀋陽における屋内外の大気汚染物質濃度の比較	○余田 佳子（兵庫医科大学）・唐 寧（金沢大学環日本海城環境研究センター）・中坪 良平・堀江 洋佑・平木 隆年（兵庫県環境研究センター）・島 正之（兵庫医科大学）
P-071	PM2.5越境問題は終焉に向かっているか？	○鶴野 伊津志・王 哲・弓本 桂也（九州大学応用力学研究所）・板橋 秀一（電力中央研究所）・長田 和雄（名古屋大学）・入江 仁士（千葉大学）・山本 重一（福岡県保健環境研究所）
P-072	長崎県における春季のPM2.5発生源解析	○土肥 正敬（長崎県環境保健研究センター）・田村 圭（長崎県環境部環境政策課）・富永 勇太（長崎県島原振興局）
P-073	福岡におけるエアロゾル表面積の濃度変動支配要因の検討	○桐谷 ミホ・山崎 花菜・鳩谷 和希・奥田 知明（慶応義塾大学）・兼保 直樹（産業技術総合研究所）・吉野 彩子・高見 昭憲（国立環境研究所）・船戸 浩二・井上 浩三（東京ダイレック）・西田 千春・原圭一郎・林 政彦（福岡大学）・鶴野 伊津志（九州大学）・山本 重一（福岡県保健環境研究所）
P-074	越境汚染におけるガス状および粒子状窒素酸化物の変容過程に関するモデル解析	○郭 朋君・島 伸一郎（兵庫県立大学）・梶野 瑞王（気象研究所）・高見 昭憲（国立環境研究所）・島山 史郎（埼玉県環境科学国際センター）・坂東 博・定永 靖宗（大阪府立大学）・弓場 彬江（アジア大気汚染研究センター）
P-075	エアロゾル版再解析データの開発	○弓本 桂也（九州大学, 気象研究所）・田中 泰宙・大島 長・眞木 貴史（気象研究所）
P-076	一酸化炭素とPM2.5無機成分の同時計測によるその発生源解析	○橋本 知加良・戸野倉 賢一（東京大学）
P-077	常時監視局SPM、PM2.5濃度による平成29年5月黄砂飛来の確認	○田村 憲治（国立環境研究所）・原 邦夫・佐々木 俊介・矢野 栄二（帝京大学）・荻田 香苗（杏林大学）
P-078	首都圏における都市大気エアロゾル中多環芳香族炭化水素の動態と健康リスク評価（2）	○能智 雅之・大河内 博・島田 幸治郎（早稲田大学）
P-079	グローバルサプライチェーンを通して主要国の消費が東アジアに誘起するPM2.5の健康影響	○黒木 みどり（京都大学）・茶谷 聡（国立環境研究所）・金本 圭一郎（信州大学）・東野 達（京都大学）・南齋 規介（国立環境研究所）
P-080	車検時PM排出検査への粒子数計測装置の適用	○関田 将大・深川 駿輔・田中 光太郎・金野 満（茨城大学）・山田 裕之（東京電機大学）・奥田 浩史（島津製作所）
P-081	富士山体を利用した大気境界層上層および自由対流圏における酸性ガスおよびエアロゾルの観測（3）	○宮内 洋輔（早稲田大学）

P-082	移動型測定機器を利用した低高度でのブラックカーボン測定	○李 政勳 (韓国技術教育大学)・兼保 直樹 (産業技術総合研究所)・朴 志承・金 周亨 (韓国技術教育大学)
P-083	大気粉じん発生源に関わる認証標準物質の無機元素組成および鉛同位体比の特徴	○本多 将俊 (環境省環境調査研修所)
P-084	つくばにおけるACSA-14を用いた大気中PM2.5の化学組成分析	○高見 昭憲・高橋 里美・吉野 彩子・伏見 暁洋 (国立環境研究所)
P-085	横浜・埼玉・福岡においてサイクロン法により採取されたPM2.5粉体試料の特性の解明	○照井 凱大・完戸 大輝・香取 拓也・金丸 葵・佐藤 摘歩実・奥田 知明 (慶應義塾大学)・長谷川 就一 (埼玉県環境科学国際センター)・原 圭一郎・西田 千春・林 政彦 (福岡大学)・船戸 浩二・井上 浩三 (東京ダイレック)
P-086	平行電極板デバイスを用いた実環境大気エアロゾルの帯電状態の測定	○藤岡 謙太郎・米道 卓音・深淵 康二・北川 みどり・岡久 俊一・高島 拓・奥田 知明 (慶應義塾大学)
P-087	ドローンを用いたPM2.5の測定	○佐々木 淳一・山本 祐志・クリストファー ライト・長宗 寧・三阪 和弘 (グリーンブルー株式会社)
P-088	化学輸送モデルを用いた2014年冬季の熊本県中心部におけるPM2.5発生源寄与解析	○古澤 尚英 (熊本県環境生活部環境局環境保全課)・板橋 秀一 (電力中央研究所環境科学研究所)・豊永 悟史 (熊本県環境生活部環境局環境保全課)・村岡 俊彦 (熊本県環境生活部環境局循環社会推進課)
P-089	PM2.5中のアンモニウムイオンの効果的除去	○片岡 裕美・濱田 法子・三崎 志穂・吉金 鮎美 (武庫川女子大学)・田鶴谷 (村山) 恵子 (第一薬科大学)・山下 沢・西川 淳一 (武庫川女子大学)
P-090	富山における大気中ホルムアルデヒド濃度の日変化/季節変化とその要因	○田口 茂・萩原 萌・柴田 歩実・藤成 広明・松本 沙矢香・波多 宣子・倉光 英樹 (富山大学)
P-091	HNO3用パッシブサンプラーの開発と拡散デューダシステムによるその評価	○大和 昂貴・長田 和雄 (名古屋大学)
P-092	福岡および熊本における大気中微小粒子状物質の化学成分の観測	○吉野 彩子・高見 昭憲 (国立環境研究所)・三澤 健太郎 (首都大学東京)・小島 知子 (熊本大学)・原 圭一郎・西田 千春・林 政彦 (福岡大学)・兼保 直樹 (産業技術総合研究所)・畠山 史郎 (東京農工大学)・山本 重一 (福岡県保健環境研究所)・鶴野 伊津志 (九州大学)
P-093	大気塩素化多環芳香族化合物の発生源解析における燃焼因子評価	○今井 悠貴 (名城大学)・池盛 文数 (名古屋市環境科学調査センター)・大浦 健 (名城大学)
P-094	韓国ハルラ山で採取したPM2.5の化学組成	米持 真一 (埼玉県環境科学国際センター)・○リ キホ・フ チュルグ (韓国国立済州大学校)・キム ヨンジュ (Ilsung Landscaping Ltd, Korea)
P-095	放射性炭素同位体比と分子マーカーを用いた炭素性エアロゾルの発生源解析に関する研究	○宮川 拓真・駒崎 雄一・竹谷 文一 (海洋研究開発機構)・潘 小楽 (海洋研究開発機構, 中国科学院 大気物理研究所)・王 自發 (中国科学院 大気物理研究所)・金谷 有剛 (海洋研究開発機構)
P-096	鳥取におけるアンモニア濃度と微小粒子中アンモニウム塩濃度の連続観測	○長田 和雄 (名古屋大学)・定永 靖宗 (大阪府立大学)・黒崎 泰典 (鳥取大学)
P-097	鳥取における反応性窒素酸化物とガス状硝酸の連続観測	○定永 靖宗 (大阪府立大学)・黒崎 泰典 (鳥取大学)・長田 和雄 (名古屋大学)
P-098	雲凝結核生成時における硫酸アンモニウムと鋳物粒子の共存の影響	○丸山 大貴・中嶋 悟 (大阪大学)

P-099	埼玉県奥秩父における大気中オゾン濃度の測定と植物に対するオゾン影響	○三輪 誠 (埼玉県環境科学国際センター)
P-100	山地森林生態系の保全に関わる生物・環境モニタリング	清水 英幸 (国立環境研究所)・○家合 浩明・遠藤 朋美 (新潟県保健環境科学研究所)・山口 高志 (北海道立総合研究機構 環境科学研究センター)・金子 智英・松田 健太郎 (静岡県環境衛生科学研究所)・山本 哲也 (広島県立総合技術研究所 保健環境センター)・須田 隆一・濱村 研吾・石間 妙子・梶原 佑介 (福岡県保健環境研究所)・河野 公亮 (大分県衛生環境研究センター)・國永 知裕 (福井県自然保護センター)・西本 孝 (岡山県自然保護センター)・和田 覚 (秋田県林業研究研修センター)・中島 春樹 (富山県農林水産総合技術センター 森林研究所)・内田 暁友 (斜里町立知床博物館)・水谷 瑞希 (福井県自然保護センター, 信州大学)・浅沼 孝夫 (有限会社ククマシステムデザイン)・高橋 善幸 (国立環境研究所)
P-101	水稻の収量に対するオゾン感受性は高濃度二酸化炭素環境下で変化するか?	○米倉 哲志・王 効挙・三輪 誠 (埼玉県環境科学国際センター)
P-102	森林によるオゾン吸収に伴う大気中のオゾン除去量の推定	○渡邊 貴典・泉 岳樹・松山 洋 (首都大学東京)
P-103	ディーゼル排気ガス由来二次生成有機エアロゾル (DE-SOA) の発達期曝露がラットの脳神経系に及ぼす影響	○ウィンシュイ ティンティン・藤谷 雄二・平野 靖史郎 (国立環境研究所)
P-104	動物モデルを用いた熱中症の病態進展と要因に関する検討	○小池 英子・柳澤 利枝 (国立環境研究所)
P-105	越境大気汚染物質のミジンコ急性・慢性毒性の周年変化とPAHsの影響	○田中 勇希 (長崎大学)
P-106	燃焼性大気汚染物質の、黄砂の健康影響への修飾 - エコチル調査追加調査『黄砂と子どもの健康調査』より -	○金谷 久美子・亀田 貴之・大久保 綾乃・森 育子 (京都大学)・増本 年男・黒沢 洋一 (鳥取大学)・大西 一成 (鳥取大学, 山梨大学)・奥田 知明 (慶應義塾大学)・中山 健夫 (京都大学)
P-107	黄砂・PM2.5の健康乳幼児の目・鼻・呼吸器症状への影響 - エコチル調査追加調査『黄砂と子どもの健康調査 (パート2)』より -	○金谷 久美子・亀田 貴之・大久保 綾乃・森 育子 (京都大学)・増本 年男・黒沢 洋一 (鳥取大学)・大西 一成 (鳥取大学, 山梨大学)・奥田 知明 (慶應義塾大学)・中山 健夫 (京都大学)
P-108	姫路市における大気中粒子状物質の化学成分が喘息発作に与える短期的影響	○島 正之・余田 佳子 (兵庫医科大学)・山崎 新 (国立環境研究所)・中坪 良平・堀江 洋佑・平木 隆年 (兵庫県環境研究センター)
P-109	モンゴル・ウランバートル市における大気汚染と小児の呼吸器症状との関連について	○Dambajants Enkh-Undraa・神田 靖士・下埜 敬紀 (関西医科大学)・余田 佳子 (兵庫医科大学)・Nagnaa Saijaa (モンゴル公衆衛生研究所)・島 正之 (兵庫医科大学)・西山 利正 (関西医科大学)
P-110	ガソリン自動車の駐車時における燃料蒸発ガスの排出実態と成分測定	○内田 里沙・萩野 浩之 ((一財) 日本自動車研究所)
P-111	局地的大気汚染に関する調査研究・対策のレビュー (第3報)	○蓮沼 英樹・渋谷 潤・山本 綾子・高松 邦明 (環境情報科学センター)
P-112	温度勾配による積雪大気間の物質移動	○清瀬 智文・野呂 和嗣・竹中 規訓 (大阪府立大学)

P-113	鉛直プロファイル観測による樹冠上部における硝酸アンモニウム粒子沈着促進メカニズムの解明	○徐 懋・松田 和秀 (東京農工大学)
P-114	鉛直プロファイルおよびフラックス観測による森林における硫酸アンモニウム粒子の乾性沈着プロセス	○中原 聡仁・坂本 泰一・松田 和秀 (東京農工大学)
P-115	デニューダ・緩和渦集積法を用いた乾性沈着直接測定による森林における硝酸ガス、アンモニアおよびPM2.5成分間の沈着速度比較	○坂本 泰一・中原 聡仁・松田 和秀 (東京農工大学)
P-116	鉛直プロファイル観測による東京郊外の森林におけるアンモニアの乾性沈着プロセス	○鈴木 景太・徐 懋・松田 和秀 (東京農工大学)
P-117	首都圏近郊の里山および山間部森林表層土壌化学特性と大気沈着の影響評価	○小松 健善・大河内 博 (早稲田大学)・勝見 尚也 (石川県立大学)・島田 幸治郎 (早稲田大学)・宮崎 あかね (日本女子大学)
P-118	基底状態のNO2計測に基づくキャピティ減衰位相シフト法NO/NO2計の開発	○疋田 利秀・後藤 高弘・溝口 麻雄・下野 彰夫 (株式会社汀線科学研究所)
P-119	多孔質ガラス基板NO2検出素子の高感度化: 複数素子の重ね合わせの検討	○相良 尚都 (東洋大学)
P-120	モバイル型PM2.5測定器の開発と応用	○高須 良三 (株式会社富士通研究所)
P-121	水晶振動子式水銀検知センサを用いた噴気地帯における気中水銀の簡易測定手法の検討	○丸本 幸治 (国立水俣病総合研究センター)・野田 和俊 (産業技術総合研究所)・谷田 幸次・渡辺 朋亮 (日本インスツルメンツ株式会社)・新村 太郎 (熊本学園大学)
P-122	ポストカラム誘導体化ー蛍光検出二次元高速液体クロマトグラフィを用いた大気粒子中9,10-フェナントレンキノンの分析	○剣崎 佑多・亀田 貴之・東野 達 (京都大学)
P-123	東京都市圏における暑熱環境将来予測の不確実性の定量的評価	○原 政之・嶋田 知英 (埼玉県環境科学国際センター)
P-124	PM2.5成分分析計を用いた発生源解析システム	○武田 直希・李 波・長谷川 祥樹・小泉 和裕 (富士電機株式会社)・三澤 隆弘 (川崎市環境総合研究所, 川崎市環境局環境対策部)・鈴木 義浩 (川崎市環境総合研究所)・平山 学 (川崎市環境総合研究所, 川崎市環境局環境対策部)
P-125	風洞実験を対象としたRANSモデルの予測精度評価	○辻本 優一郎 (明星大学)
P-126	瀬戸内海の離島における大気中粒子状物質と学校生活と肺機能の関連性	○伊藤 武志・高木 洋・若松 純子 (弓削商船高等専門学校)・余田 佳子・島 正之 (兵庫医科大学)・中坪 良平・堀江 洋佑・平木 隆年 (兵庫県環境研究センター)
P-127	小空間を対象とした超音波ミスト表面でのVOCガスの促進酸分解と無機化	○関口 和彦・檜原 壮馬・小野 雄誠・三小田 憲史 (埼玉大学)・並木 則和 (工学院大学)・二井 晋 (鹿児島大学)
P-128	ISO13528に基づくEANET分析機関間比較調査の再解析	○上ノ山 貴嗣 (新潟市環境部環境対策課大気係, (一財) 日本環境衛生センターアジア大気汚染研究センター)

<第2日目 9月7日(木) 午前>

A会場 (輸送/東アジア)

座長：島田 幸治郎 (早稲田大学)

2A0915	国内EANETサイトに至る後方流跡線分布	○箕浦 宏明・弓場 彬江 (アジア大気汚染研究センター)
2A0930	EANETモニタリングデータの特徴	○山下 研 (アジア大気汚染研究センター)・青 正澄・大野 周平 (横浜市立大学)
2A0945	モデルシミュレーションによるダストイベント時における1-ニトロピレンの二次生成量の評価	○猪股 弥生 (金沢大学)・梶野 瑞王 (気象研究所)・亀田 貴之 (京都大学)・佐藤 啓市 (アジア大気汚染研究センター)・早川 和一 (金沢大学)・植田 洋匡 (京都大学)
2A1000	北九州市におけるFP法による冬季daily観測	○藍川 昌秀・広川 浩太郎・村上 拓弥 (北九州市立大学国際環境工学部)

座長：箕浦 宏明 (アジア大気汚染研究センター)

2A1015	粒径別エアロゾル中の指標化合物を用いた越境大気汚染とローカル汚染の寄与推定	○畠山 史郎 (埼玉県環境科学国際センター・東京農工大学)・島田 幸治郎 (早稲田大学, 東京農工大学)・高見 昭憲 (国立環境研究所)・谷口 裕太・辰田 詩織・三浦 香央理 (東京農工大学)
2A1030	東京の都市大気に対する越境大気汚染物質の寄与推定の手法開発	○島田 幸治郎 (早稲田大学・東京農工大学)・松田 和秀・中嶋 吉弘 (東京農工大学)・加藤 俊吾 (首都大学東京)・畠山 史郎 (埼玉県環境科学国際センター)
2A1045	大気質モデルCMAQによる東アジアにおける窒素・硫黄化合物の動態解析	○大橋 尚生・嶋寺 光・松尾 智仁・近藤 明 (大阪大学)
2A1100	ウランバートルにおける大気汚染を対象とした大気質モデル再現性評価	○福原 峻汰・嶋寺 光・松尾 智仁 (大阪大学)・乌云・包海・塔娜 (内モンゴル師範大学)・Dulam Jugder (モンゴル気象水文環境情報研究所)・近藤 明 (大阪大学)

B会場 (粒子状物質)

座長：米持 真一 (埼玉県環境研究国際センター)

2B0900	凝縮性ダストを考慮した有機エアロゾルの大気シミュレーション	○森野 悠・茶谷 聡・田邊 潔・藤谷 雄二 (国立環境研究所)・森川 多津子 (一般財団法人 日本自動車研究所)・佐藤 圭 (国立環境研究所)
2B0915	大気観測とシミュレーションにおけるPM2.5炭素成分の詳細解析	○森川 多津子・木村 真・萩野 浩之・伊藤 晃佳 (一般財団法人 日本自動車研究所)
2B0930	夏季のPM2.5高濃度発生機構に関する検討	○吉門 洋 (日本気象協会)
2B0945	神奈川県における化学輸送モデルを用いたPM2.5の発生源寄与解析(2)～夏季高濃度解析～	○小松 宏昭 (神奈川県環境科学センター)・原 政之 (埼玉県環境科学国際センター)・常松 展充 (東京都環境科学研究所)・菅田 誠治 (国立環境研究所)
2B1000	PMF法による香川県におけるPM2.5発生源解析	○池田 光広 (香川県環境保健研究センター)

座長：森川 多津子（一般財団法人 日本自動車研究所）

2B1015	神奈川県におけるアンモニアの大気中濃度の測定結果	○武田 麻由子・小松 宏昭・石割 隼人・十河 孝夫（神奈川県環境科学センター）・福崎 有希子・志村 徹（横浜市環境科学研究所）・鈴木 義浩・田中 佑典（川崎市環境総合研究所）
2B1030	関東の都市、郊外、森林地点におけるPM2.5中の二次有機成分の挙動	○熊谷 貴美代・田子 博・齊藤 由倫（群馬県衛生環境研究所）・飯島 明宏・工藤 慎治（高崎経済大学）・関口 和彦（埼玉大学）
2B1045	東京スカイツリーで捕らえた2017年3月中旬におけるPM2.5高濃度イベントの解析	○田中 清敬（東京理科大学）・速水 洋（東京理科大学・電力中央研究所）・齋野 広祥（東京理科大学）・齊藤 伸治（東京都環境科学研究所）・三浦 和彦（東京理科大学）
2B1100	10年間の通年観測からみたサブミクロン粒子（PM1）の特徴	○米持 真一（埼玉県環境科学国際センター）
2B1115	富士山頂観測から考察した2015年夏季の関東地方のPM2.5高濃度現象	○米持 真一・堀井 勇一（埼玉県環境科学国際センター）・小西 智也・大河内 博（早稲田大学）・加藤 俊吾（首都大学東京）

○会場（粒子状物質）

座長：内藤 季和（千葉県環境研究センター）

2C0900	名古屋における冬季のアンモニアとガス状硝酸濃度：2017年2月17日の高PM2.5濃度イベントとの関係	○長田 和雄・大和 昂貴（名古屋大学）・山神 真紀子・池盛 文数・久恒 邦裕（名古屋市環境科学調査センター）
2C0915	関東平野におけるPM2.5化学成分の特別観測ー2016年冬季の高濃度事例解析ー	○齊藤 伸治・星 純也（東京都環境科学研究所）・池盛 文数（名古屋市環境科学調査センター）・長田 和雄（名古屋大学）
2C0930	濃尾平野の港湾部、内陸部における有機トレーサー成分の特別測定-2016年冬季のPM2.5高濃度事例-	○池盛 文数・山神 真紀子・久恒 邦裕（名古屋市環境科学調査センター）・長田 和雄（名古屋大学）
2C0945	名古屋市南部における海陸風別PM2.5の化学成分	○山神 真紀子・池盛 文数・久恒 邦裕（名古屋市環境科学調査センター）・長田 和雄（名古屋大学）
2C1000	夏場の海陸風による大気汚染物質の挙動解析	○久恒 邦裕・池盛 文数・山神 真紀子（名古屋市環境科学調査センター）・長田 和雄（名古屋大学）

座長：山神 真紀子（名古屋市環境科学調査センター）

2C1015	関東甲信静におけるPM2.5のキャラクタリゼーション（第8報）（1）	○前田 良彦（茨城県霞ヶ浦環境科学センター）・関東地方大気環境対策推進連絡会浮遊粒子状物質調査会議
2C1030	関東甲信静におけるPM2.5のキャラクタリゼーション（第8報）（2）-CMB法による発生源寄与の推定-	○内藤 季和（千葉県環境研究センター）・大橋 泰浩（山梨県衛生環境研究所）・城 裕樹（さいたま市健康科学研究センター）・関東地方大気環境対策推進連絡会浮遊粒子状物質調査会議
2C1045	PM2.5粒子捕集のアーティファクトの問題を防ぐ酸又は塩基を塗布したろ紙シートの平行板型拡散スクラバーによる大気汚染ガスの捕集	○田中 茂・吉川 知宏・横浜 賢・小山 茜・司馬 里佳（慶應義塾大学）・井上 浩三（東京ダイレック株式会社）
2C1100	フィルター捕集によるPM2.5粒子中アンモニウム塩のアーティファクトの実態解析	○田中 茂・吉田 健人・中島 慧人・司馬 里佳（慶應義塾大学）・井上 浩三（東京ダイレック株式会社）
2C1115	中国北京市におけるPM2.5粒子の酸性度の測定	○田中 茂・王 芸諾・張 韻静・祐川 湧哉・司馬 里佳（慶應義塾大学）・賀 克斌・段 凤魁・朱 丽丹・楊 碩・李 慧（清華大学）・巖 綱林・嵯 倩楠（慶應義塾大学）・井上 浩三・楊 柳（東京ダイレック株式会社）

F会場 (固定発生源/移動発生源)

座長：陸田 雅彦 (東京都環境科学研究所)

2F0900	我が国における家畜からの揮発性有機化合物の排出	○田中 伸幸 (電力中央研究所)・尾坂 奈生・宮崎 あかね (日本女子大学)
2F0915	産業廃棄物焼却から排出される無機元素等について	○大塚 英幸 (北海道立総合研究機構)・三宅 祐一 (静岡県立大学)・小口 正弘 (国立環境研究所)
2F0930	大気化学輸送モデルによる次世代自動車導入に伴う大気オゾン濃度の環境リスク評価	○秦 寛夫 (東京都環境科学研究所・東京大学)・伊神 宏昭・Yingjie LIU・中川 雄貴・戸野倉 賢一 (東京大学)
2F0945	外気温が自動車排出ガスに与える影響の定量化に向けた速度-駆動力排出マップの活用	○富田 幸佳・森川 多津子 (一般財団法人 日本自動車研究所)
2F1000	燃料の性状がガソリン自動車の粒子状物質排出に与える影響	○柏倉 桐子 (一般財団法人 日本自動車研究所)

座長：伊藤 晃佳 (一般財団法人 日本自動車研究所)

2F1015	種々の原料から作製したバイオディーゼル燃料排ガスの放出による大気中二次汚染物質への影響—二次生成アルデヒド—	坂井 美歌子・島谷 知亜紀・○竹中 規訓 (大阪府立大学)
2F1030	山岳道路沿道における窒素酸化物濃度の変動とその要因の解明	○和田 龍一 (帝京科学大学)・松見 豊・中山 智喜 (名古屋大学)・米村 正一郎 (農研機構)・谷 晃 (静岡県立大学)・中野 隆志 (山梨県富士山科学研究所)・加藤 俊吾 (首都大学東京)
2F1045	LTOモード別運転時間の解析による航空機排ガスの推計精度向上に関する検討(2)	○前田 崇宏・斎藤 正義・押尾 恵一 (一般財団法人成田国際空港振興協会)
2F1100	大型使用過程車のPM排出量について	○陸田 雅彦・門屋 真希子・秦 寛夫・岡田 めぐみ・舟久保 千景・柳井 孝一 (東京都環境科学研究所)・山崎 実 (東京都環境局)

<第3日目 9月8日(金) 午前>

A会場 (植物影響/光化学オキシダント)

座長：清水 英幸 (国立環境研究所)

3A0900	長崎で栽培されるイネの主要品種ヒノヒカリの収量と品質に対する気温上昇の影響	○山口 真弘・川田 彩香 (長崎大学 大学院 水産・環境科学総合研究科)・米倉 哲志 (埼玉県環境科学国際センター)・河野 吉久 (電力中央研究所)
3A0915	植物に対する低線量環境放射線の影響 (4)	○青野 光子 (国立環境研究所)・三輪 誠 (埼玉県環境科学国際センター)・鈴木 光彰 (静岡県環境衛生科学研究所)・尾川 成彰 (鳥取県衛生環境研究所)・岡村 祐里子・中島 寛則 (名古屋市環境科学調査センター)・須田 隆一 (福岡県保健環境研究所)・佐野 友春・永野 公代・玉置 雅紀・中嶋 信美・佐治 光 (国立環境研究所)
3A0930	Farquhar-Ballモデルによるブナ苗の葉のオゾン吸収量の推定	○黄瀬 佳之 (東京農工大学大学院 連合農学研究科, 茨城大学 農学部)・深町 吉伸 (東京農工大学大学院 農学府)・渡辺 誠・伊豆田 猛 (東京農工大学大学院 農学研究科)
3A0945	オゾンによる森林の育成阻害リスクと気候の年々変動の関係	○渡邊 貴典・泉 岳樹・松山 洋 (首都大学東京 都市環境科学研究科)

座長：松本 淳 (早稲田大学)

3A1000	東京都内市街地における優占街路樹からの植物起源VOC放出量の観測	○國分 優孝 (東京都環境科学研究所)・望月 智貴・谷 晃 (静岡県立大学)・小林 芳久・齊藤 伸治・星 純也 (東京都環境科学研究所)
3A1015	WorldView-2及びWorldView-3衛星画像データを用いた東京都内市街地の樹木葉面積の推定	○國分 優孝 (東京都環境科学研究所)・原 誠一・中塚 誠次 (株)NTTデータCCS)・星 純也 (東京都環境科学研究所)
3A1030	北陸地方における大気中の過酸化水素濃度の測定	○渡辺 幸一・矢地 千奈津・宋 笑晶・角山 沙織・市川 夢子 (富山県立大学)
3A1045	東京都心部における冬季亜硝酸濃度測定と発生源寄与の検討	○中嶋 吉弘 (東京農工大学農学部)・定永 靖宗 (大阪府立大学)・齊藤 伸治・星 純也 (東京都環境科学研究所)

座長：中嶋 吉弘 (東京農工大学)

3A1100	濃尾平野-伊勢湾域の大規模大気立体観測再訪：1995年夏季のオゾン	○北田 敏廣 (豊橋技術科学大学大学院工学研究科)
3A1115	埼玉県所沢市における都市郊外大気の有機硝酸全量の連続観測	○松本 淳 (早稲田大学人間科学学術院, 早稲田大学大学院人間科学研究科)・洪 征翌 (早稲田大学大学院人間科学研究科)
3A1130	地上オキシダント濃度同化時間による気象庁領域大気汚染気象予測モデル(NHM-Chem)の特性	○鎌田 茜・池上 雅明 (気象庁地球環境・海洋部環境気象管理官付, 気象研究所)・梶野 瑞王 (気象研究所)・出 牛 真 (気象庁地球環境・海洋部環境気象管理官付, 気象研究所)
3A1145	国設大気環境測定所における光化学オキシダント濃度の経年変動	○藤原 誠・佐藤 嵩拓・草刈 崇志・金津 雅紀 (島根県保健環境科学研究所)・若松 伸司 (愛媛大学)

B会場 (解析手法・モデリング)

座長：足立 幸穂 (理化学研究所)

3B0900	大気質モデル間相互比較研究J-STREAMの概要	○茶谷 聡・菅田 誠治・永島 達也・森野 悠 (国立環境研究所)・山地 一代 (神戸大学)・速水 洋・板橋 秀一 (電力中央研究所)・櫻井 達也 (明星大学)
3B0915	大気モデル化学反応メカニズムの違いによるO ₃ 濃度差の評価	○北山 響・森野 悠 (国立環境研究所)・山地 一代 (神戸大学)・茶谷 聡 (国立環境研究所)
3B0930	化学物質輸送モデルの冬季の硫酸塩過小評価要因の検討	○板橋 秀一・速水 洋 (一般財団法人 電力中央研究所)・山地 一代 (神戸大学)・茶谷 聡 (国立環境研究所)
3B0945	高解像度植生・植物起源VOC排出インベントリデータベースの構築と気象・大気質シミュレーションへの影響	○茶谷 聡 (国立環境研究所)・奥村 智憲 (大阪府立環境農林水産総合研究所)・嶋寺 光 (大阪大学)・山地 一代 (神戸大学)・北山 響 (国立環境研究所)・松永 壮 (北海道大学)

座長：板橋 秀一 (電力中央研究所)

3B1000	夏季阪神地域におけるオゾンシミュレーションに対する水平格子解像度の影響評価	○深水 健吾・嶋寺 光・松尾 智仁・近藤 明 (大阪大学)
3B1015	タグ付きトレーサー法を用いた近畿圏におけるオゾンの発生源寄与解析	○服部 慎也・嶋寺 光・松尾 智仁・近藤 明 (大阪大学)
3B1030	国外バイオマス燃焼によるPM _{2.5} の広域輸送解析—2014年秋 中国国内～日本：北陸地方—	○浦西 克維 (大阪大学)・池盛 文数 (名古屋市環境科学調査センター)・嶋寺 光・近藤 明 (大阪大学)・菅田 誠治 (国立環境研究所)
3B1045	地域気候計算における高解像度海面水温データの影響	○足立 幸穂 (理化学研究所)・木村 富士男 (筑波大学)・高橋 洋 (首都大学東京)・原 政之 (埼玉県環境科学国際センター)・馬 燮鈞 (南京情報工科大学)・富田 浩文 (理化学研究所)

座長：茶谷 聡 (国立環境研究所)

3B1100	オンライン結合型WRF-CMAQを用いた東アジアにおける通年PM _{2.5} シミュレーション	○関口 亜未・嶋寺 光・伊 莎・松尾 智仁・近藤 明 (大阪大学)
3B1115	風車ブレードの回転が排ガス拡散に及ぼす影響	○道岡 武信 (近畿大学理工学部機械工学科)・林 将史 (近畿大学大学院メカニクス系工学専攻)
3B1130	タグ付きトレーサー法を用いた日本の大気汚染に対する船舶排出寄与推計	○嶋寺 光・松尾 智仁・近藤 明 (大阪大学)
3B1145	平坦な地形上を拡散する汚染質の実用的なLES計算手法に関する研究	○小野 浩己・佐田 幸一 (電力中央研究所)

F会場（動物影響・毒性評価）

座長：田中 昭代（九州大学）

3F0900	最新ディーゼルエンジン排気（二次粒子含む）の曝露が虚血性心疾患に及ぼす影響（1）曝露条件と曝露チャンパー内の成分分析	○細谷 純一・萩野 浩之・内田 里沙・須藤 菜那・伊藤 晃佳・伊藤 剛（日本自動車研究所）・酒井 俊（筑波大学）・小林 隆弘（元国立環境研究所）・坂本 和彦（日本環境衛生センター アジア大気汚染研究センター）・内山 巖雄（京都大学）
3F0915	最新ディーゼルエンジン排気（二次粒子含む）の曝露が虚血性心疾患に及ぼす影響（2）SDラットを用いた自律神経系影響の評価	○細谷 純一・田中 睦美・萩野 浩之・伊藤 剛（日本自動車研究所）・酒井 俊（筑波大学）・小林 隆弘（元国立環境研究所）・坂本 和彦（日本環境衛生センター アジア大気汚染研究センター）・内山 巖雄（京都大学）
3F0930	最新ディーゼルエンジン排気（二次粒子含む）の曝露が虚血性心疾患に及ぼす影響（3）ApoE KOマウスを用いたアテローム性動脈硬化影響の評価	○細谷 純一・田中 睦美・堺 温哉・萩野 浩之・伊藤 剛（日本自動車研究所）・酒井 俊（筑波大学）・小林 隆弘（元国立環境研究所）・坂本 和彦（日本環境衛生センター アジア大気汚染研究センター）・内山 巖雄（京都大学）
3F0945	タンパク質によるPM2.5のアレルギー性気道炎症の増強作用	○萩野 景規・伊藤 達男・長岡 憲次郎・江口 依里・竹本 圭（岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 公衆衛生学講座）・藤倉 義久（大分大学医学部 分子解剖学講座）

座長：古山 昭子（国立環境研究所）

3F1000	気液界面培養下の気道上皮細胞による排出ガス曝露影響評価法の検討－（1）タバコ煙および排出ガス細胞曝露の実験条件－	○利根川 義男・伊藤 剛・村木 直美・田村 久美子（日本自動車研究所）・石井 幸雄（筑波大学）・酒井 康行（東京大学）・渡邊 肇（大阪大学）・高野 裕久（京都大学）
3F1015	気液界面培養下の気道上皮細胞への排出ガス曝露影響評価法の検討－（2）タバコ煙および排出ガス曝露の影響評価－	○伊藤 剛・村木 直美・田村 久美子・利根川 義男（日本自動車研究所）・石井 幸雄（筑波大学）・酒井 康行（東京大学）・渡邊 肇（大阪大学）・高野 裕久（京都大学）
3F1030	インジウムナノ粒子と三酸化インジウムのラット気管内投与による体内動態	○田中 昭代・平田 美由紀・松村 渚（九州大学大学院医学研究院 環境医学分野）・古閑 一憲・白谷 正治（九州大学大学院システム情報科学研究院 情報エレクトロニクス部門）
3F1045	亜硝酸曝露実験動物の肺気腫様変化の直線切片定量法による比較	○大山 正幸（大阪健康安全基盤研究所）・安達 修一（相模女子大学）・東 賢一（近畿大学）・堀江 一郎・磯濱 洋一郎（東京理科大学）・峰島 知芳（国際基督教大学）・竹中 規訓（大阪府立大学）

座長：細谷 純一（日本自動車研究所）

3F1100	ディーゼル排気由来二次有機エアロゾル(SOA)の新生仔期曝露影響	○古山 昭子・宇田川 理・藤谷 雄二・平野 靖史郎（国立研究開発法人 国立環境研究所 環境リスク・健康研究センター）
3F1115	胎仔期LPS曝露による雄性出生仔の生殖機能への影響	○吉田 成一（大分県立看護科学大学）・村木 直美・伊藤 剛（日本自動車研究所）・嵐谷 奎一（産業医科大学）・市瀬 孝道（大分県立看護科学大学）
3F1130	PM2.5と黄砂の複合曝露による肺のアレルギー炎症増悪作用	○市瀬 孝道・吉田 成一・定金 香里（大分県立看護科学大学）・嵐谷 奎一（産業医科大学）
3F1145	黄砂が惹起するアレルギー性気道炎症増悪における酸化ストレス寄与についての検討	○定金 香里・市瀬 孝道（大分県立看護科学大学人間科学講座 生体反応学）・西川 雅高（東京理科大学環境安全センター）・高野 裕久（京都大学大学院工学研究科）

<第3日目 9月8日(金) 午後>

A会場 (粒子状物質)

座長：浅川 大地 (大阪市立環境科学研究センター)

3A1300	新潟県におけるPM2.5の組成濃度変動とレセプターモデルによる長距離輸送解析	○佐藤 啓市 (アジア大気汚染研究センター) ・李 平 (新潟大学) ・霍 銘群・箕浦 宏明 (アジア大気汚染研究センター) ・長谷川 英夫 (新潟大学) ・猪股 弥生 (アジア大気汚染研究センター・金沢大学) ・武 直子 (アジア大気汚染研究センター・新潟県保健環境科学研究所) ・弓場 彬江・二見 真理・高橋 司・小竹 祐佳 (アジア大気汚染研究センター)
3A1315	バンコク都市圏における粒子状物質の化学組成の特徴と発生源解析	○佐藤 啓市・霍 銘群 (アジア大気汚染研究センター) ・ Nguyen Thi Kim Oanh・Didin Agustian Permadi ・ Uaeungkool Aung Mahawong・Atiyaya Saensud (アジア工科大学院) ・李 平 (新潟大学) ・成田 大樹 (北海道大学) ・竹内 博史 (JICA研究所)
3A1330	カンボジア王国プノンペン市におけるPM測定	○佐々木 俊介 (帝京大学) ・山内 武紀 (昭和大学) ・原 邦夫 (帝京大学) ・田村 憲治 (国立環境研究所) ・山野 優子・長嶋 大地 (昭和大学) ・矢野 榮二 (帝京大学)
3A1345	大気エアロゾル中の臭素の粒径分布と季節変化	○伊藤 憲男・溝畑 朗 (大阪府立大学)

座長：伊藤 憲男 (大阪府立大学)

3A1400	バイオモニタリングを用いた大阪市における沿道大気汚染の解析(4)-3年間における研究成果	○三原 幸恵 (中央復建コンサルタンツ株式会社) ・村重 陽志・守口 要・嶋寺 光・松尾 智仁・近藤 明 (大阪大学) ・松井 敏彦・原井 信明・重吉 実和 (中央復建コンサルタンツ株式会社) ・世良 耕一郎 (岩手医科大学)
3A1415	大阪におけるPM2.5へのバイオマス燃焼影響の考察	○西村 理恵 (大阪府立環境農林水産総合研究所) ・浅川 大地 (大阪市立環境科学研究センター) ・池盛 文数 (名古屋市環境科学調査センター) ・山本 勝彦 (大阪府立環境農林水産総合研究所) ・菅田 誠治 (国立環境研究所)
3A1430	シベリア森林火災由来レボグルコサンの輸送過程での分解性推定	○浅川 大地 (大阪市立環境科学研究センター) ・宮野 実佳・奥 勇一郎 (兵庫県立大学)
3A1445	バイオマス燃焼に由来するPM2.5一次粒子の有機成分について	○市川 有二郎・渡邊 剛久・内藤 季和 (千葉県環境研究センター)

B会場 (粒子状物質)

座長：武 直子 (新潟県保健環境科学研究所)

3B1300	全国常時監視データを用いたPM2.5汚染状況の考察(2)	○長谷川 就一 (埼玉県環境科学国際センター) ・梶田 奈穂子 (愛知県尾張県民事務所環境保全課) ・桶谷 嘉一 (和歌山県環境生活部環境政策局環境管理課)
3B1315	PM2.5高濃度時における炭素成分の1時間値解析	○齋野 広祥 (東京理科大学) ・速水 洋 (電力中央研究所・東京理科大学) ・三浦 和彦 (東京理科大学)
3B1330	島根県におけるPM2.5の特徴と発生源解析	○佐藤 嵩拓 (島根県保健環境科学研究所) ・船木 大輔 (島根県環境政策課) ・浅野 浩史 (島根県企業局西部事務所) ・金津 雅紀・草刈 崇志・藤原 誠 (島根県保健環境科学研究所)
3B1345	神奈川県におけるPM2.5に含まれる有機化合物の季節変動	○石割 隼人 (神奈川県環境科学センター)

座長：石割 隼人（神奈川県環境科学センター）

3B1400	新潟市内の公園におけるPM2.5濃度の測定（第二報）	○武直子・大泉 毅（新潟県保健環境科学研究所）・高橋司・諸橋 将雪・佐瀬 裕之（アジア大気汚染研究センター）・中田 誠（新潟大学）・高橋 雅昭（アジア大気汚染研究センター）
3B1415	福井県におけるPM2.5成分組成の地域特性について（3）	○岡 恭子・藤田 大介・吉川 昌範（福井県衛生環境研究センター）
3B1430	岡山県におけるPM2.5実態調査	○中野 温朗・間野 遼太・山田 克明・野村 茂・信森 達也・鷹野 洋（岡山県環境保健センター）
3B1445	市民向けモバイルPM2.5センサによる各国都市部での可視化実験	○石垣 陽（電気通信大学大学院）・森 康彰（日本気象協会）・松本 佳宣（慶應義塾大学）・田中 健次（電気通信大学大学院）

C会場（放射性物質／測定技術）

座長：五十嵐 康人（気象研究所）

3C1300	環境センサーネットワークに配備された花粉センサーによる雲粒の分別検出	○兼保 直樹・飯田 健次郎（産業技術総合研究所）・田尻拓也（気象研究所）・古田 泰子（株式会社NTTドコモ）
3C1315	花粉センサー設置地点で検出した放射性核種の沈着に関連する2011年3月15日午後の接地雲(霧)	○兼保 直樹（産業技術総合研究所）
3C1330	放射性物質の拡散解析にMSMと高時空間分解能のNHM-LETKFを使用した場合の差について、-AIST-MMの場合-	○近藤 裕昭（日本気象協会・産業技術総合研究所）・梶野 瑞王・関山 剛（気象研究所）・滝川 雅之（海洋研究開発機構）・中島 映至（宇宙航空研究開発機構）
3C1345	大気中放射性Csの粒径別放射線強度の変動	○渡邊 明（福島大学）・二宮 和彦・篠原 厚（大阪大学）・高貝 慶隆（福島大学）
3C1400	福島第一原発近傍の住宅室内における清掃時のエアロゾル中の放射性セシウム汚染	○篠原 直秀（産業技術総合研究所）・吉田 浩子（東北大学）・反町 篤行（福島県立医科大学）

座長：佐藤 啓市（アジア大気汚染研究センター）

3C1415	粒子状亜硝酸塩の測定と疫学調査の必要性	○天谷 和夫（元群馬大学）
3C1430	二つの違法状態を解消するための各種NO2簡易測定器を活用する提案	○天谷 和夫（元群馬大学）
3C1445	大気汚染立体測定に用いる各種大気汚染簡易測定器	○天谷 和夫（元群馬大学）

F会場（都市・地域汚染）

座長：瀧本 浩史（電力中央研究所）

3F1300	柏崎地域における大気中水銀の動態観測 第3報	○福崎 紀夫（新潟工科大学）・鈴木 規之・柴田 康行（国立環境研究所）・丸本 幸治（国立水俣病総合研究センター）
3F1315	日本海側の都市（北九州，金沢）と太平洋側の首都圏および郊外との大気質比較	○柏倉 桐子・森川 多津子・伊藤 晃佳（日本自動車研究所）・長門 豪・斉藤 和子・唐 寧（金沢大学）・嵐谷 奎一（産業医科大学）・早川 和一（金沢大学）
3F1330	ドローンを用いた都市部低層大気環境の観測試験	○王 青躍（埼玉大学）

座長：王 青躍（埼玉大学）

3F1345	大気中微量ガス成分の分析と濃度支配要因	○井川 学・小関 泰典・王 一澤（神奈川大学）
3F1400	空冷復水器からの温風拡散に関する現地観測と予測モデルの構築	○瀧本 浩史・小野 浩己・佐藤 歩・岸田 岳士（電力中央研究所）・道岡 武信（近畿大学）
3F1415	「大気汚染に係る環境保健サーベイランス調査報告」の呼吸器系症状と大気汚染に関する分析評価について	○西川 榮一（大阪から公害をなくす会）